

概 況

1 土地・気象 (P1~5)

【気象】(P2~4)

平成 20 年の最高気温は 8 月 3 日の 35.6 で、前年より 1.9 下回り平年並みでした。最低気温は 2 月 22 日のマイナス 4.2 で、前年より 0.1 上回り平年より高い気温となりました。

【土地】(P5)

平成 20 年の私有地面積は 5,590.8ha でした。

平成 20 年の農地の転用実績は 12.685 m² でした。

2 人 口 (P6~19)

国勢調査 (P8~9・15~19)

平成 17 年国勢調査の結果、平成 17 年 10 月 1 日現在の見附市の人口は 42,668 人、世帯数は 12,983 世帯でした。平成 12 年の国勢調査に比べ 858 人 (2.0%) の減少、新潟県の人口は 243 万 1,459 人で見附市は県内 21 市中 14 位となっています。

国勢調査では昭和 22 年に 40,000 人を超え、その後多少の増減を繰り返すものの、全体的には微増傾向で推移し、平成 7 年に 43,760 人で人口のピークをとなりました。その後平成 12 年には減少に転じ、平成 17 年も引き続き減少となりました。

平成 17 年の昼間人口は 37,093 人となりました。流入人口 5,360 人(前年比 630 人・13.3%増)、流出人口 10,886 人(前年比 658 人・6.4%増)と流入、流出ともに増加していますが、流出人口が多いため昼間人口は前回より減少しています。これまで減少を続けてきた流入人口が増加に転じました。

産業別就業人口を見ると全体で 483 人減少しました。第 1 次産業は 114 人、第 3 次産業は 612 人増加しましたが、第 2 次産業が 1,320 人大きく減少しました。

住民登録 (P6・10・12~14)

住民登録を見ると、平成 21 年 1 月 1 日で人口 43,021 人、世帯数 13,569 世帯となっています。

65 歳以上の高齢人口は 10,831 人、高齢化率は 25.2%で前年より 0.6%上昇しました。高齢化率は、平成 13 年に 20%台となり、以降、年々上昇しています。

人口動態 (P14)

人口動態を見ると、自然動態では出生 311 人(前年比 24 人・7.2%減) 死亡 424 人(前年比 4 人・0.9%減)で 113 人の減少となりました。社会動態では転入 934 人(前年比 55 人・5.6%減) 転出 978 人(前年比 82 人・7.7%減)の 44 人の減少となりました。主な異動事由として、転入は職業に関するもので 33.5%、転出も同じく職業に関するもので 37.1%でした。自然動態は平成 14 年以降、社会動態は平成 13 年以降減少が続いています。

3 事業所 (P20~21)

平成 18 年 10 月 1 日現在の事業所数は 2,141 事業所で、前回平成 16 年に比べ 83 事業所(3.7%)減少しましたが、従業者数は 15,985 人で前回に比べ 711 人(4.7%)増加しました。

産業別事業所数を見ると、製造業が 94 事業所、卸売・小売業が 34 事業所の減少、医療、福祉が 22 事業所、教育・学習支援業が 22 事業所の増加となりました。

規模別事業所では、0~4 人の事業所が 320 減と大きく減少しました。その他の規模は増加しており、5~9 人の事業所が 111 増、10~19 人の事業所が 37 増、20~29 人の事業所が 7 増、30 人以上の事業所が 8 増加となりました。

4 農林業 (P22~26)

農業 (P22~)

平成 17 年 2 月 1 日現在の総農家数は 1,541 戸でした。そのうち販売農家数は 1,287 戸、自給的農家数は 254 戸でした。販売農家の専兼業別に見ると、専業農家数 91 戸、兼業農家数 1,196 戸でした。

前回平成 12 年と比べると総農家数で 51 戸(3.2%)の減少となりました。内訳では販売農家数は 135 戸(9.5%)の減少、自給的農家数は 84 戸(49.4%)の増加となりました。専兼業別では専業農家数 31 戸(51.7%)の増加、兼業農家は 166 戸(12.2%)の減少となりました。

農業生産組織等への参加の農家数は 295 戸と前回 12 年に比べ、85 戸(40.5%)の増加となりました。

農業産出額 (P25)

平成 19 年以降の市町村別では、集計されなくなりました。

5 製造業 (P27～)

平成 19 年 12 月 31 日現在の従業者 4 人以上の製造業の状況は、事業所数 160 事業所、従業者数 4,804 人、製造品出荷額等は 858 億 7,123 万円でした。

前年と比較すると、事業所数は 11 (6.4%) 減、従業者数は 16 人 (0.3%) 減少しましたが、製造品出荷額等は 53 億 5,328 万円 (6.6%) の増加となりました。

出荷額等はプラスチック製品製造業が 22 億円、食料品製造業が 14 億円と大きく増加しました。

出荷額等の 1 位はプラスチック製品、2 位は一般機械器具となりました。

従業者規模別を見ると、4～9 人の事業所が最も多く、62 事業所 (前年比 15 事業所・19.5% 減) で全体の 39.8% を占めました。100 人以上の事業所は、14 事業所 (前年比 3 事業所・27.3% 増) で全体の 8.8% ですが、製造品出荷額等は 404 億 1,219 万円 で全体の 47.0% を占めました。

平成 20 年以降、独自集計ができなくなりました。

6 商業・金融 (P31～)

【商業】(P31～)

平成 19 年 6 月 1 日現在の商業事業所の状況は、事業所数 537 事業所、従業者数 3,153 人、年間商品販売額 822 億 7,901 万円でした。

平成 16 年と比較すると、事業所数は 38 (6.6%) の減、従業者数は 254 人 (7.5%) の減少となりましたが、年間商品販売額は 101 億 6,654 万円 (14.1%) の増加となりました。

内訳を見ると、卸売業は 102 事業所 (前回比 2 事業所・1.9% 減) 従業者数 778 人 (前回比 3 人・0.4% 増) 年間商品販売額 426 億 4,120 万円 (前回比 47 億 573 万円・12.4% 増) となりました。小売業は 435 事業所 (前回比 36 事業所・7.6% 減) 従業者数 2,375 人 (前回比 257 人・9.8% 減) 年間商品販売額 396 億 3,781 万円 (前回比 54 億 6,081 万円・16.0% 増) となりました。

卸・小売業の年間商品販売額は、平成 14 年以降、2 調査連続で伸び続けています。

【金融】(P34)

市内金融機関における預金・貯金総額は 1,960 億円となりました。貸出総額は 672 億円となりました。預金・貯金総額、貸出総額とも前年に比べ減少しました。

7 建設 (P36～)

道路 (P36～37)

市道の実延長は 354,595m で、うち改良済 209,054m (実延長の 59.0%)、舗装延長 317,186m (89.5%) で改良、舗装延長とも伸びています。

建築 (P38)

平成 19 年度における着工建築物は新築件数で 120 件、延べ床面積は 28,278 m²、増改築件数は 105 件、12,487 m²となりました。新築着工件数が 40 件減少、増改築件数は 34 件減少しました。

8 運輸・通信 (P40～)

【運輸】

鉄道 (P40)

平成 19 年度の JR 見附駅での乗車人員は 767,595 人 (前年比 5,475 人・0.7%減) で 1 日平均 2,103 人 (前年比 15 人・0.7%減) でした。

バス (P40)

一般乗合バスの乗車人員は 759,957 人 (前年比 12,665 人・1.6%減) でした。

コミュニティバス (P40)

平成 19 年度のコミュニティバスの乗車人員は 57,399 人 (前年比 1,658 人・2.8%増) でした。

自動車 (P41)

自動車の保有台数は乗用自動車 13,390 台 (前年比 199 台・1.5%減)、軽自動車 13,390 台 (前年比 248 台・1.9%増) でした。

【通信】

郵便 (P42)

平成 19 年度の引き受け郵便物は普通郵便物が 3,479,103 通 (前年比 1,040,823 通・42.7%増)、ゆうパックが 32,020 通 (前年比 7,370 通・29.9%増) でした。

平成 19 年度より集計方法が変わり、長岡市の一部が含まれるようになりました。

電話 (P43)

平成 19 年度の電話加入総数は 16,435 件 (前年比 875 件・5.1%減) でした。

9 電気・水道・ガス (P44～)

【電気】(P44・45)

平成 19 年度の電灯消費の状況は、契約口数 22,442 件、販売電力は 8,375 万 KWH でした。電力消費の状況は、契約口数 4,928 件、1 億 9,053 万 KWH でした。

【水道】(P46～47)

上水道

平成 19 年度の上水道の状況は、給水戸数は 18,837 戸、給水人口は 55,845 人、年間給水量は 697 万 2,086 m³でした。

公共下水道

公共下水道の状況は処理区人口 32,911 人、水洗化人口は 28,726 人で水洗化率は 87.3%でした。

農業集落排水

整備集落数 15、供用開始区域人口 3,885 人、水洗化人口は 3,209 人で水洗化率は 82.6%と水洗化率が増加しました。

【ガス】(P47)

平成 19 年度の供給戸数は 12,506 戸で年間消費量は 1,714 万 2,766 m³で前年に比べ 244 万 5,642 m³の増加となりました。

10 社会保障 (P48～)

国民健康保険 (P48・49)

平成 19 年度の国民健康保険の状況は、加入世帯 7,187 世帯(前年比 2 世帯・0.03%増)、加入人口 14,120 人(前年比 213 人・1.5%減)でした。医療給付状況は 159,492 件、28 億 2,148 万円で件数、金額とも年々増加しています。一人あたり医療費は 386,322 円で昨年に比べ増加しています。

老人保健 (P49)

平成 19 年度の老人保健の状況は、対象人員は 5,283 人、医療給付件数は 139,918 件、給付金額は 35 億 3,398 万円となりました。

介護保険 (P50)

平成 19 年度の介護保険の状況は、申請者数 1,956 人(前年比 55 人・2.7%減)、認定者数は 1,639 人(115 人・7.5%増)、給付総額 24 億 993 万円(前年比 1,140 万円・5.0%増)と増加しました。

国民年金 (P51)

平成 19 年度の適用数は 8,058 件(前年比 429 件・5.1%減)、給付総額は 22 億 8,450 万円(前年比 4,036 万円・1.7%減)と減少しました。

生活保護 (P51・52)

平成 19 年度の生活保護の状況は、世帯人員 1,398 人(前年比 145 人・11.6%増)、生活保護費支出額 1 億 2,426 万円(前年比 1,169 万円・8.6%減)と減少しました。

保育園児 (P53)

平成 20 年 5 月 1 日の保育園児数は 879 人でした。

11 衛生 (P55～)

検診 (P55～63)

平成 19 年度の基本健康診査の受診者は 6,774 人(前年比 181 人・2.7%増)でした。各種検診の受診者は、肺がん検診 6,029 人(前年比 124 人・2.1%増)と最も多く、続いて大腸がん検診 3,435 人(前年比 89 人・2.7%増)、胃がん検診 2,564 人(前年比 108 人・4.0%減)、子宮がん検診 467 人(前年比 124 人・21.0%減)の順となっています。

死因別死亡 (P66～67)

死因別の死亡の状況をみると、死亡数 426 人のうち、悪性新生物 127 人、脳血管疾患 80 人、心疾患 72 人となっています。悪性新生物は昭和 60 年以降、年間死因の 1 位になっています。

ごみ回収量 (P72～74)

平成 19 年度のごみの回収量は 14,563 t で、前年に比べ 179 t(1.2%)減少しました。内訳を見ると、資源ごみ 2,538 t、燃えるごみ 11,484 t、燃えないごみ 427 t、粗大ごみ 114 t となっています。

12 教育・文化 (P75～)

児童生徒数 (P75・78～79)

平成 20 年 5 月 1 日の児童生徒数は、幼稚園では 3 校、16 学級、368 人で前年に比べ、5 人の増加となりました。

小学校は 8 校、103 学級、2,322 人で前年に比べ 3 人の減少となりました。

中学校は 4 校、46 学級、1,269 人で前年に比べ 50 人の減少となりました。

養護学校は 1 校、13 学級、31 人で前年に比べ 2 人の増加となりました。

高等学校は 2 校、22 学級、755 人で前年に比べ 95 人の減少となりました。

卒業後の進路（P80～82）

平成 20 年の卒業後の状況を見ると、中学校卒業者の進学者数は 441 人で進学率は 99.1%となっています。市内高等学校卒業者の大学・短大への進学者数は 83 人で進学率は 28.3%となりました。

公共施設の利用（P83～86）

平成 19 年度の公共施設の利用者数は、体育施設で 151,750 人、勤労者家庭支援施設で 36,685 人、公民館で 137,742 人、文化ホールで 59,132 人でした。図書館の蔵書貸出冊数は 231,784 冊で市民一人当たり 5.4 冊となりました。

13 市民所得（P88～90）

平成 18 年度の市内総生産は 1,185 億 1,500 万円でした。一人当たり所得は 2,472 千円となっています。国民所得と比較すると 84.6%、県民所得とは 90.5%となっています。

14 治安・災害（P91～98）

火災（P91～92）

平成 20 年の火災件数は 13 件（前年比 9 件増）で、損害総額は 3,394 万円、焼損面積 448.54 m²、死傷者数は死者が 1 人（前年比 1 人増）、負傷者が 3 人（前年比 2 人増）でした。

救急（P92～93）

平成 20 年の救急の出動状況は、1,294 件（前年比 11 件増）で増加しました。搬送人員数も 1,233 人（前年比 6 人増）で増加しました。

交通事故（P93～96）

平成 20 年の交通事故発生状況をみると、230 件（前年比 8 件増）で増加しました。死者数は 2 人で前年より減少しました。事故原因別発生件数をみると、安全不確認 71 件、わきみ運転が 63 件の順になっています。

犯罪（P97～98）

平成 20 年の見附警察署管内の刑事犯罪等発生件数をみると、発生件数 420 件（前年比 20 件減）、検挙件数 165 件（前年比 16 件減）、検挙人員 123 人（前年比 4 人増）でした。その約 7 割が窃盗犯となっています。